

eWeLL (5038)

2024年12月12日

執筆担当者：QUICK 企業価値研究所 豊田博幸、園田三保

○会社概要

訪問看護専用業務システムを提供する IT プラットフォーマー

訪問看護ステーション向けクラウド型電子カルテ「iBow」を中心としたクラウドサービスや、BPO（Business Process Outsourcingの頭文字をとった略語、業務プロセスの一部を一括して専門業者に外部委託すること）サービスを提供するITプラットフォーム。

訪問看護ステーション向けクラウド型電子カルテ「iBow」を中心としたクラウドサービスやBPOサービスを提供するITプラットフォーム。加えて、医療データの収集などで在宅医療のDX化を推進し、地域包括ケアシステム（医療や介護が必要な状態になっても、可能な限り、住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した生活を続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保されるという考え方）の普及・拡大にも貢献。

株価・指標

(表示単位未満四捨五入)

株価(24/12/11 終値)	1,817.0 円
年初来高値(24/11/28)	2,042.0 円
年初来安値(24/8/5)	1,054.0 円
単独 PER(24/12 期会社予想)	36.67 倍
単独 PBR(最新実績)	12.69 倍
基準 BPS	143.21 円
予想配当利回り(24/12 期会社予想)	0.61 %
1株当たり年間予想配当金	11 円
普通株発行済株式数	15,118 千株
普通株時価総額	275 億円

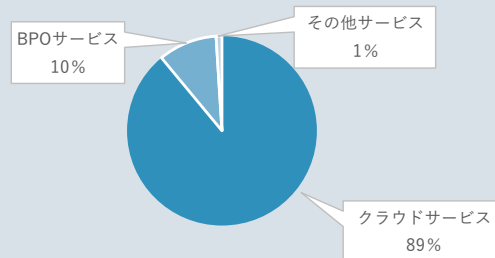
» 売上構成 (23/12 期単独、外部顧客への売上高)

クラウドサービス 89%、BPO サービス 10%、その他サービス 1%。

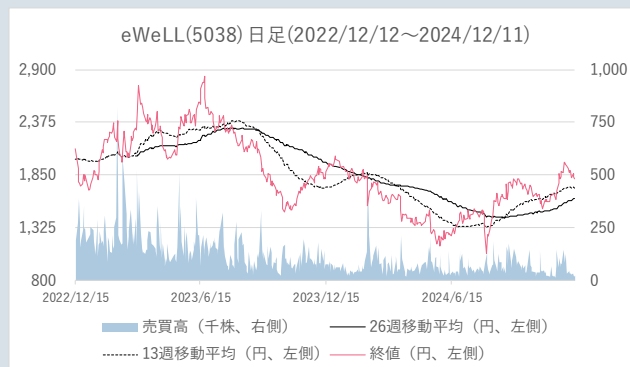
» ビジネスモデル、事業戦略等

訪問看護ステーション（訪問看護を行う看護師や保健師、助産師、理学療法士などが所属している事業所）向けにクラウドサービスや BPO サービスを行っている。加えて、医療データビジネスなどにより在宅医療の DX を推進する。サービスの根幹となるのが iBow。電子カルテだが、訪問看護に係る制度・法律などの情報も提供するなど、顧客の業務を支援。レセプト（保険者に請求する診療報酬明細書）、就業管理、介護請求伝送サービスと組み合わせることで、顧客の利便性が向上する仕組みとなっている。他社の一般的なサービスはレセプトを中心に展開しているが、同社は電子カルテを中心に展開する。この点が特長であり、他社との差別化要因の 1 つとなっている。なお、訪問介護は介護保険を利用する高齢者の生活サポートが主なサービス。一方、訪問看護は 0 歳児～看取りまで全ての世代を対象とする医療行為が主なサービス。また、訪問看護は医療行為であるため、医療カルテが必要とされる。

売上構成



株価チャート



◇本資料は会社側の資料・見解および事実報道等を要約したものであり、執筆担当者自身の分析・評価および特定の見解を表明したものではありません。
◇本ページの図表の個別注記以外の説明および出所は、後掲の<データの説明>にまとめて記載しております。

※本資料のご利用に際して重要な事項を最終ページに記載しておりますので、必ずご確認下さい。

○業績動向

基盤強化進展、新サービスも好調に推移

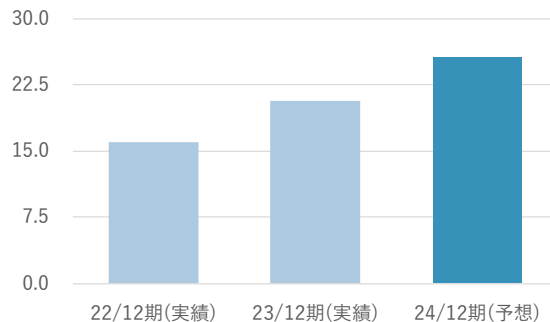
※実績：24/12期3Q累計の単独売上業績は前年同期比24.1%増、同16.2%営業増益

24/12期3Q累計の単独売上高は前年同期比24.1%増の18億60百万円、営業利益は同16.2%増の8億23百万円。組織強化のため人員採用を積極化し、24/12期3Q累計の売上高営業利益率は44.3%（前年同期は47.3%）と悪化したが、売上高および営業利益は会社想定をやや上回ったとしている。新規契約獲得件数は四半期ベースで高水準に推移し（1Q160件、2Q162件、3Q133件）、看護ステーションの契約数は2891件と順調に拡大した。なお、24/12期3Q末従業員数は86人（23/12期末67人）。24/12期4Qも数名の採用を計画。事業の規模・状況に合わせ、バランスをとった人員配置を行う予定。

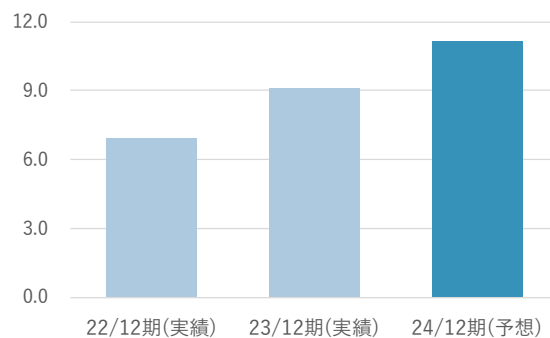
※業績見通し：24/12期通期計画は、期初予想から変わらず。新サービス好調

24/12期の単独業績計画は、売上高が前期比23.7%増の25億60百万円、営業利益が同22.3%増の11億11百万円で、期初予想から変わらず。新規獲得件数の過去最高が続いているほか、iBow、BPOともに顧客の訪問件数が順調に増加。また、単価が高い他社からの切り替えの割合も増加しており、顧客単価も上昇傾向であるなど、順調に進捗しているとしている。一方、株主還元を適切に行っていくことも経営上重要であると認識しており、事業基盤の整備状況や投資計画、業績や財政状態等を総合的に勘案しながら、安定的な配当を行う方針としている。AI訪問看護報告や、ファクタリングなど新サービスも順調に推移。

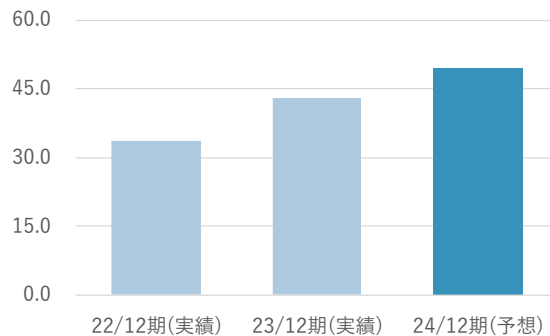
売上高(億円)



営業利益(億円)



EPS(円)



（出所）会社資料、QUICK Workstation で当研究所作成

業績データ 会計基準：日本基準

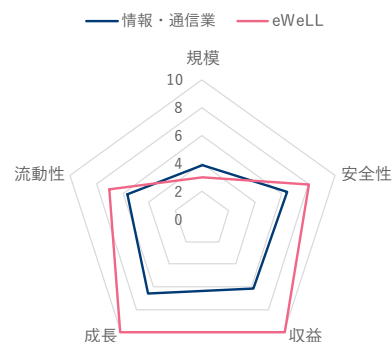
（%は前期比増減率）

決算期	売上高(百万円)		営業利益(百万円)		経常利益(百万円)		純利益(百万円)		EPS(円)
単 22/12 期(実績)	1,603	34.4%	692	72.4%	676	67.6%	449	32.1%	33.59
単 23/12 期(実績)	2,069	29.1%	908	31.2%	910	34.7%	612	36.3%	43.06
単 24/12 期(予想)	2,560	23.7%	1,111	22.3%	1,112	22.1%	749	22.3%	49.55

注：予想は会社予想。ただし、予想EPSは会社予想純利益をベースに当研究所で算出している

○沿革、企業分析レーダーチャート

2012年6月、設立。訪問看護ステーション向けを中心に業績拡大・財務内容の改善などが貢献し、22年9月に東京証券取引所グロース市場に株式を上場した。社名の eWeLL は、力・活力を意味する「energy」と、健康であることを意味する「wellness」の組み合わせが由来。サービス名「iBow」（読み方はアイボウ）は、顧客にとって相棒のように、常に寄り添い、力となるようにとの思いから名付けたとしている。



(出所) QUICK スコア

<データの説明>

- ・株価高安値：表示期間中の株式分割等の影響は調整済み。市場変更があった場合には市場変更後の高安値を表示
- ・PER (予想)・PBR (実績)：PERは株価収益率、PBRは株価純資産倍率の略。PER (予想) = 株価 ÷ EPS (予想)。PBR (実績) = 株価 ÷ BPS (実績)。“-” (ハイフン) の表示はEPS・BPSがゼロもしくはマイナスの場合、EPS・BPSが非常に少額でPER200倍・PBR20倍を上回る場合、EPSの予想値がない場合、変則決算のためPER (予想)の算出が不適当な場合など
- ・EPS (予想)・BPS (実績)：EPSは予想1株当たり利益の略で、普通株主に帰属しない配当を控除した予想純利益を用いて算出。“-” (ハイフン) は利益予想がない場合。この算出に用いる株式数はQUICKが日々算出する直近の普通株発行済株式数 (自己株式除く) を使用。BPSは直近実績の1株当たり純資産の略で、QUICKが日々算出する1株当たり純資産を使用。株式分割等の影響は遡及修正している
- ・配当利回り：1株当たり年間予想配当金 ÷ 株価。“-” (ハイフン) は配当金予想がない場合、変則決算の場合
- ・年間予想配当金：株式分割等の権利落ちがあった場合には遡及修正した1株当たり配当金を表示。“-” (ハイフン) は会社予想がない場合、変則決算のため年間配当金としての表示が不適当な場合
- ・普通株発行済株式数：QUICKが日々算出する直近の普通株発行済株式数 (自己株式含む) を表示
- ・普通株時価総額：株価 × 上記の普通株発行済株式数
- ・株価チャート：表示期間中の株式分割等の影響は遡及修正済み。また、市場変更があった場合は新旧両市場の株価を連続的に描画している
- ・業績データ：会計基準の変更などに伴う過年度決算数値の遡及修正は会社が開示している範囲内で反映している。純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。米国会計基準、国際会計基準において非継続事業が発生した場合は、原則として純利益を除き継続事業ベースの数値を表示
- ・企業分析レーダーチャートは、QUICKスコア(※)より以下の5項目を抽出。規模 (企業規模の大小を表し、スコア値が高い銘柄ほど企業規模が大きい。構成要素：時価総額、売上高、総資産)、流動性 (流動性すなわち売買のしやすさを表し、スコア値が高いほど流動性が高い。同：平均売買代金[25日]、売買回転率)、成長 (企業の過去および将来における売上や利益、資産の成長性を表し、スコア値が高いほど成長性が高い。同：売上高成長率[3期平均]、経常利益成長率[3期平均]、総資産成長率[3期平均]、予想売上高伸び率[今期・日経予想]、予想経常利益伸び率[今期・日経予想])、収益性 (企業の収益性や利益率を表し、スコア値が高いほど収益性が高い。同：ROE[自己資本利益率]、ROA[総資産利益率]、売上高経常利益率)、安全性 (企業の財務的な安定性を表し、スコア値が高いほど安全性が高い。なお、銀行など金融事業を営む企業は、事業の特性上、自己資本比率が小さく、安全性スコアも低くなる傾向にある。同：自己資本比率) を表示。

(※) QUICKスコア：国内上場全銘柄を対象に各スコアの構成要素の値を順位付け後、順位 (グループ) を点数化したもの。点数は最上位グループを10とし、以降降順に付与。各項目に複数の構成要素が含まれる場合は、その全構成要素のスコア平均値を採用。

- ・売上構成はセグメント等で調整されることがあり、合計が100%とならないことがあります。
- ・出所：株価・チャート等はQUICKのデータベース。業績データ・予想配当金等は決算短信、有価証券報告書、その他会社開示資料

株式会社QUICKからのお知らせ

本資料は、本資料の対象会社、株式会社QUICKおよび野村インベスター・リレーションズ株式会社の3社間の契約に基づき、株式会社QUICKが作成したものです。

本資料の各ページに注記している通り、株式会社QUICKは、本資料の作成に当たり対象会社からスポンサー料を受領しているため、本資料の執筆者は対象会社から独立した立場にありません。

本資料の執筆者は、対象会社の公表済み事実・情報、並びに一般に入手可能な情報の範囲で、正確性・客観性を重視して本資料を作成しております。

なお、株式会社QUICKは本資料の正確性・客観性を確保する態勢を整備し、対象会社との契約においては、対象会社は事実誤認による記載についてのみ訂正を要求できるよう定めております。

免責事項

- ・本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。株式・債券等の有価証券の投資には、損失が生じるおそれがあります。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願い致します。
- ・本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて株式会社QUICKの一部門であるQUICK企業価値研究所が作成したものです。同研究所は、同研究所が基にした情報およびそれに基づく同研究所の要約または見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。本資料に記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更される可能性があります。
- ・本資料を参考に投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、株式会社QUICKは、理由の如何を問わず、一切責任を負いません。
- ・本資料に関する著作権を含む一切の権利は、株式会社QUICKまたは情報源に帰属しており、理由の如何を問わず無断での複製、転載、転送、改ざんおよび第三者への再配布等を一切禁止します。

野村インベスター・リレーションズ株式会社からのお知らせ

本資料は、株式会社QUICK、野村証券株式会社、野村インベスター・リレーションズ株式会社が共同で企画し、株式会社QUICKが作成、野村インベスター・リレーションズ株式会社が配信をしています。よって、本資料は、当社が正確かつ完全であることを保証するものではありません。使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましては、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料は、株式等についての参考情報の提供を唯一の目的としております。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身のご判断でおこなってください。なお、本資料は金融商品取引法に基づく開示資料や外国証券情報ではありません。本資料は提供させていただいたお客様限りでご使用いただきますようお願いいたします。